

2022年1月28日

報道関係者各位

GROUND 株式会社

GROUND、

自律型協働ロボット『PEER』を食品スーパー・カスミの新業態店舗に導入

— 日本初事例として、ネットスーパー向けピッキング支援に自律型協働ロボットを応用 —

日本の LogiTech[®]*1 をリードする GROUND 株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長 CEO: 宮田 啓友、以下「GROUND」)は、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングスグループの株式会社カスミ(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:山本 慎一郎、以下「カスミ」)へ自律型協働ロボット『PEER』を納入し、2022年1月28日(金)に新規開店する「[BLANDEつくば並木店](#)」が提供するネットスーパーサービスにおけるピッキング支援ソリューションとして『PEER』を実稼働させます。今回、GROUND が培ったノウハウと知見を基に、画期的な応用例として『PEER』はカスミが運営するスーパーマーケット店舗で稼働します。これにより、小売業におけるデジタルトランスフォーメーション(以下、DX)の推進を支援します。



BLANDEつくば並木店で実稼働する自律型協働ロボット『PEER』

■『PEER』導入の概要

導入ロボット: 自律型協働ロボット『PEER』

実稼働 : 2022年1月28日(金)

導入場所 : 「[BLANDEつくば並木店](#)」

茨城県つくば市並木4丁目3-2

導入用途 : カスミが運営するネットスーパー「オンラインデリバリー」のピッキング支援ソリューションとして導入され、「BLANDEつくば並木店」店舗内で稼働します。

広さ : 2,353 m²(店舗面積)

■『PEER』提供の背景

日本では、少子高齢化の加速に伴い、2010年から2060年までの50年間における生産年齢人口の半減^{※2}が予想されており、慢性的な人手不足が大きな課題とされています。特に、食品スーパーをはじめとする地域密着型の小売業では、店舗近隣に居住する人々による労働力への依存度が高く、店舗内業務の高度化・複雑化に伴い、従業員一人あたりの生産性向上が急務となっています。

『PEER』は、ロボットと人が協働でピッキング作業を行うことで省人化を図るソリューションのため、扱いやすく、従業員にとってもやさしい製品であることが特長です。

<GROUND 代表取締役社長 CEO 宮田 啓友のコメント>

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の中で、食料品宅配サービスをはじめとする非接触型の商取引が拡大しています。このような状況の中、カスミ様の新業態店舗において、日本で初めてとなる実店舗での自律型協働ロボットの導入を迎えることができ、大変嬉しく思っています。『PEER』は、カスミ様が展開される「オンラインデリバリー」における大幅な業務効率化の一助となると確信しています。今後は、食品スーパーのみならず、ホームセンター、専門店など、あらゆる業態で『PEER』の活用が進むことを期待しています。

両社で小売業におけるDXに取り組むとともに、我々のビジョンである「すべての人にとって永久に持続可能な物流の未来へ」に基づき、事業を加速させてまいります。

<カスミ 代表取締役社長 山本 慎一郎氏のコメント>

我々が検討を進めているMFC(マイクロ・フルフィルメント・センター)に向けたマイルストーンとして、商品のピッキング作業の業務支援でDXを活用した取り組みの一つとして『PEER』を採用いたしました。

新業態店舗 2 店舗へ先行導入し、まずは店内作業のピッキング支援での有効性を実地検証し、今後の新規プランへ発展させてまいります。

■『PEER』の特長と導入メリット

- ① タブレット端末によるユーザーインターフェイスにより、作業者のピッキング効率の向上、人為的ミスの低減、わずかなトレーニング時間での作業習熟を実現します。
- ② 先端の SLAM 技術^{※3} がカメラおよび LiDAR^{※4} からの情報を融合させ、リアルタイムにロボット自身が位置情報を取得し、人と協働しながら作業支援を行うことが可能です。さらに、経路情報を設定することなく自律走行できるため、経路上の障害物を回避した最適な経路を選定します。
- ③ 施設内の作業オペレーションやレイアウトの大幅な変更をすることなく、スピーディーな導入が可能です。
- ④ ニーズや波動に合わせて、フレキシブルに PEER の台数を増減できます。

※¹:『LogiTech[®]』、『Intelligent Logistics[®]』は、GROUND 株式会社の登録商標または商標です。

※²: 出典 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」

※³: Simultaneous Localization and Mapping の略。センサーによって周囲環境を把握し、マップをつくりつつ、取得したデータをもとにロボットの自身の位置も推定する技術。

※⁴: 光センサー技術。

<参考資料>

2021年3月1日

[「日本初 GROUND、ダイオーエンジニアリングと RFID 搭載の自律型協働ロボット提供へ」](#)

2019年7月25日

[「日本初、自律型協働ロボットをダイヤモンドヘッドへ導入」](#)

■ GROUND 株式会社について

GROUND は、“Intelligent Logistics[®]”の実現を目指して、物流領域における世界の最先端テクノロジー (LogiTech[®]) に基づく革新的ソリューションの提供を行う企業です。代表の宮田をはじめとする GROUND メンバーは、ロジスティクス、サプライチェーンだけでなく、データサイエンスやマーケティングにおいても豊富な経験を持ち、国内外の最新のテクノロジーに関して幅広い知識やネットワークを有しています。これらを背景に、日々高度化・複雑化する物流オペレーションに対して、需要と供給のバランスを考慮する最適なハードウェア及びソフトウェアで構成されたソリューションを提供しています。

社名:	GROUND 株式会社
事業概要:	テクノロジーを活用した物流ソリューションの提供
設立:	2015年4月
所在地:	東京都江東区青海二丁目7-4 the SOHO 3F
代表者:	代表取締役社長 CEO 宮田 啓友
資本金:	13.5億円(2021年10月末)
URL:	https://www.groundinc.co.jp

本件に関するお問い合わせ先

GROUND 株式会社

広報:山田

MOBILE: 090-2700-8672

TEL: 03-6457-1650 FAX: 03-6457-1751

E-mail: pr@groundinc.co.jp